

小児科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 小児 AML 症例における H3K4、H3K27 のトリメチル化と臨床像との関連性について

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 長 祐子 (小児科・助教)

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

大分大学医学部大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業 助教 後藤 洋徳

[共同研究機関名・研究責任者名]

兵庫県立こども病院	長谷川大一郎
兵庫県立尼崎総合医療センター小児血液・腫瘍内科	宇佐美 郁哉
名古屋大学医学部附属病院小児科	高橋 義行
宮崎大学医学部附属病院小児科	盛武 浩
福岡大学医学部附属病院小児科	野村 優子
群馬大学大学院医学系研究科病態病理学分野	信澤 純人
鳥取大学医学部附属病院小児科	奥野 啓介
静岡県立こども病院血液腫瘍科	川口 晃司
九州大学大学院医学研究院 成長発達医学分野	大賀 正一
山形大学医学部小児科学講座	三井 哲夫
岡山大学小児科学講座	鷺尾 佳奈
北海道大学病院小児科	長 祐子

[研究の目的] 急性骨髄性白血病の治療法の向上に役立てるため。

本研究では、小児期発症の急性骨髄性白血病の患者さんから得られた骨髄クロット(骨髄血が固まったもの)を用いてエピジェネティクスに関する異常を調べることにより、将来、急性骨髄性白血病の患者さんにどのような治療薬が効く可能性があるのかを予測したり、新しい抗がん剤の開発に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2011年2月18日から2022年3月31日までの間に北海道大学病院小児科で骨髄検査を受けられ、急性骨髄性白血病と診断され治療を受けられた方で「日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG)における小児血液腫瘍性疾患を対象として前方視的研究」という研究に参加され、検体を保管されることに同意された方

○利用する検体・カルテ情報

検体:骨髄クロットのホルマリン固定パラフィン包埋標本

カルテ情報:診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液学的検査結果、血液生化学的検査結果)、治療経過

この研究は、日本小児がん研究グループ(JCCG)に登録している国内の医療機関のうち、小児の急性骨髄性白血病の患者さんの治療を行っている上記医療機関で協力しながら実施します。

上記の検体は、エピジェネティクス解析のために、匿名化のうえ大分大学医学部小児科に郵送で送付します。上記のカルテ情報は、エピジェネティクス解析と臨床情報の関連を解析するため、匿名化のうえ大分大学医学部小児科に郵送で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2023年3月31日(解析期間を含む)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院小児科 担当医師 長 祐子

電話 011-706-5954 FAX 011-706-7898